

社会資本総合整備計画

栃木県・大田原市

平成25年3月15日

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成 25年 3月15日

計画の名称	2 大田原市街地のにぎわいの再生		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	栃木県・大田原市
計画の目標			

大田原市街地の都市構造は、車社会の進展等により変化が生じている。かつて、県北地域の中心的な商業市街地として長期にわたり繁栄してきたが、近年では定住人口の減少や高齢化、それに伴う商業施設の衰退・減少、大型店の郊外立地および公共公益施設の分散化が加速し、無秩序な市街地の拡大が旧市街地の空洞化を劇的に進行させている。
 このような問題に対処するために、土地の高度利用化を推進し、集客力の見込まれる商業施設の整備や公共公益施設の集約及び駐車場等の整備による中心市街地の活性化を図る。
 また、当地区では平成19年3月に中心市街地活性化協議会を設立し、「活性化のために何が必要なのか」行政と地元が一体となって検討をすすめ中心市街地のにぎわいを取り戻していく。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の通行人数を約2,200人/日（H21）から3,000人/日（H26）に増加 中心市街地の定住人口を約2,950人（H21）から約3,150人（H26）に増加 中心市街地の小売販売額を約11,017百万円（H21）から約12,000百万円（H26）に増加 		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考	
						当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H26末)		
	中央通り、寺町通り、薬師通りにおける歩行者及び自転車通行数を測定する。					2,200人/日	3,000人/日	3,000人/日		
	大田原市街地地区において、住民基本台帳から調査する。					2,950人	3,150人	3,150人		
小売業を営む方を対象にアンケート調査を実施する。					11,017百万円	12,000百万円	12,000百万円			
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,792百万円	A	2,028百万円	B	438百万円	C	326百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	11.6%

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
2-A-1	再開発	一般	大田原市	直接	大田原市	大田原市街地地区暮らし・にぎわい再生事業	図書館・市民交流施設・立体駐車場等	大田原市						1,109	
2-A-2	再開発	一般	大田原市	直接	大田原市	大田原市街地地区暮らし・にぎわい再生事業	まちづくり活動支援・計画立案	大田原市						36	
2-A-3	再開発	一般	大田原市	間接	中央通り地区市街地再開発組合	中央通り地区市街地再開発事業	再開発ビル（公共公益施設・商業施設）0.6ha	大田原市						883	
合計													2,028		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
2-B-1	街路	一般	栃木県	間接	栃木県	中央通り地区							318		
2-B-2	道路	一般	大田原市	直接	大田原市	市道中央石林線 住吉町1丁目地区	L=0.40km	大田原市					46.5		
2-B-3	道路	一般	大田原市	直接	大田原市	市道住吉町101号線	L=0.35km	大田原市					28		
2-B-4	道路	一般	大田原市	直接	大田原市	市道住吉町202号線	L=0.35km	大田原市					45.5		
合計													438		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
2-B-1	道路整備により滞留時間を長くし、中心市街地のにぎわい形成を図る。	
2-B-2	快適な歩行空間を整備することにより、まちなか居住を促進させる。	
2-B-3	快適な歩行空間を整備することにより、まちなか居住を促進させる。	
2-B-4	快適な歩行空間を整備することにより、まちなか居住を促進させる。	

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
2-C-1	施設整備	一般	大田原市	直接	大田原市	まちなか駐車場整備事業	駐車場の用地取得、整備	大田原市						30	
2-C-2	施設整備	一般	大田原市	直接	大田原市	駐輪場整備事業	駐輪場整備、用地取得	大田原市						140	
2-C-3	施設整備	一般	大田原市	直接	大田原市	図書館、市民交流施設関連整備事業	公共施設関連の整備、保留床・用地取得	大田原市						156	
合計													326		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
2-C-1	人が集まるための、まちなかに必要な駐車場を確保することで、周辺商業施設等と一体となつてにぎわいを創出する。														
2-C-2	駐輪場を整備することにより、利便性と回遊性を向上させ自転車の利用促進を図る。利用者の拡大を図る。														
2-C-3	暮らし・にぎわい再生事業(2-A-1)で整備される公共施設と一体的に整備することで、公共施設の機能を補完し中心市街地の活性化に寄与する。														

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	2 大田原市街地のにぎわいの再生	交付対象	栃木県、大田原市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)		

